

製品名: ビトロネクチンウサギポリクローナル抗体**カタログ番号:** APRab19808

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	55kDa

抗原情報

遺伝子名	VTN
別名	VTN; Vitronectin; VN; S-protein; Serum-spreading factor; V75
遺伝子 ID	7448.0
SwissProt ID	P04004
免疫原	抗血清はヒトビトロネクチン由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 209-258

背景

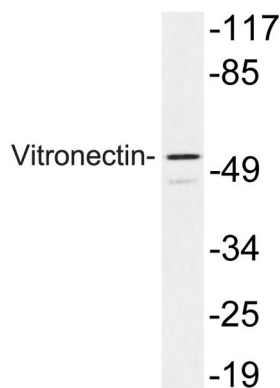
この遺伝子によってコードされるタンパク質はペクシンファミリーに属します。血清および組織中に存在し、細胞接着と伸展を促進し、終末細胞溶解性補体経路による膜損傷作用を阻害し、いくつかのセルピンセリンプロテアーゼ阻害因子と結合します。分泌タン

パク質であり、一本鎖型、またはジスルフィド結合によって連結された二本鎖型で存在します。 [RefSeq 提供、2008年7月],ドメイン: SMB ドメインは SERPINE1/PAI1 との相互作用を媒介します。ヘパリン結合ドメインはインスリンとの相互作用を媒介します。 ,機能: ソマトメジン B は、プロテアーゼ阻害活性を有する成長ホルモン依存性血清因子です。 ,機能: ビトロネクチンは、血清および組織中に存在し、細胞接着および伸展因子です。 ビトロネクチンはグリコサミノグリカンおよびプロテオグリカンと相互作用します。インテグリンファミリーの特定のメンバーによって認識され、細胞と基質との接着分子として機能します。終末細胞溶解性補体経路の膜損傷効果の阻害剤。 ,PTM:活性 SMB ドメインには、かなりのジスルフィド結合の不均一性または変動性が許容される可能性があることが示唆されているため、3D 構造に基づいて 2 つの代替ジスルフィドパターンが、両方で保存された 1 つのジスルフィド結合とともに記述されています。 ,PTM:N-および O-グリコシル化されています。 ,PTM:Thr-69 および Thr-76 のリン酸化は、細胞接着と拡散に有利に働きます。 ,PTM:2 つのチロシン残基が硫酸化されています。 ,類似性:1 つの SMB (ソマトメジン-B) ドメインを含みます。 ,類似性:4 つのヘモペキシン様ドメインを含みます。 ,サブユニット:単一鎖 75 kDa フォーム (V75) と、ジスルフィド結合で一緒に保持された 2 つの鎖 (65 kDa および 10 kDa) (V65+V10) で構成されるクリップされたフォームの 2 つの形式で存在します。SERPINE1/PAI1 およびインスリンと相互作用する。 ,組織特異性:血漿。 ,

研究分野

焦点接着;ECM-受容体相互作用;

画像データ



Vitronectin 抗体を使用した 293 細胞溶解液のウエスタン ブロット分析。